

ちょっと待った!

STOP!!!

災害時の 一斉帰宅



大規模地震などの発生時には、公共交通機関の運行停止などにより、多くの帰宅困難者の発生が予想されます。

帰宅困難者が一斉に移動を始めると、混雑による集団転倒や建物の倒壊・落下物による死傷の危険があるとともに、緊急車両が通行できなくなるなど、救助・救急・消火活動の妨げになるおそれがあります。

それらを防ぐために、各事業所において従業員の一斉帰宅の抑制をお願いします。



H30.6.18 大阪府北部を震源とする地震



出典:「平成24年警察白書」(警察庁)

1 基本原則 むやみに移動を開始しない

混乱を回避するための基本的な考え方は、「むやみに移動を開始しない」こと。まずは身の安全を確保し、落ち着いて状況を把握しましょう。

万一の状況においても、冷静な行動ができるように、発災時の行動ルールを策定し、従業員と確認しておきましょう。



2 時間帯別 行動パターンのルール化

災害はいつ起こるかわかりません。
出勤時・就業時・帰宅時など、発災時間帯を想定した行動
ルールを策定し、周知徹底しましょう。



出勤時間帯など発災時間帯別に事業所がとるべき行動

基本ルール



出勤時間帯に発災

- ・原則、従業員等に自宅待機又は自宅に戻るよう指示。
- ・通勤途中で事業所に近い場合は、職場などで安全確保を指示。
- ・災害対策や業務継続を行う上で必要不可欠な人員は除く。



就業時間帯に発災

- ・従業員等に施設内待機を指示。
- ・外出中の従業員等は周辺の安全な場所で待機を指示。
- ・来所者を施設内の待機スペースに誘導。



帰宅時間帯に発災

- ・原則、従業員等に事業所待機又は事業所に戻るよう指示。
- ・ただし、帰宅途中で、自宅に近い場合は、自宅などで安全確保を指示。

出勤時間帯や就業時間帯に発災し、しばらくしてから帰宅時間を迎える場合の対応(広域に被害が及ぶ場合)

被災状況や公共交通機関の運行状況等を把握し、従業員等に施設内待機の指示を継続。

“南海トラフ
巨大地震”が
起こったら
どうなるの…

南海トラフ巨大地震の
被害想定
(大阪府域)

最大震度6強
死者: 133,891人
(津波からの避難が遅い場合)
全壊・全焼建物: 179,153棟
帰宅困難者: 約146万人

大阪には
“上町断層帯地震”も
あるし…

上町断層帯地震の
被害想定
(大阪府域)

最大震度7
死者: 約12,700人
全壊建物: 約36万棟
帰宅困難者: 約142万人



3 目安は「3日分」 飲料水などの備蓄を

発災後3日間は、救助・救急活動を優先させる応急対策活動の期間とされています。

従業員の一齐帰宅が救助・救急活動の妨げとならないよう、従業員を施設内に待機させられるようにしておくことが重要です。最低3日分を備蓄するとともに、備蓄場所や配布方法についても考えておきましょう。

3日分の備蓄量の目安

水：飲料水

1人あたり1日3リットル＝(計9リットル)

主食：アルファ化米、クラッカー、 乾パン、カップ麺

1人あたり1日3食＝(計9食)

毛布：毛布、保温シート

1人あたり1枚

その他の物資 (必要性が高いもの)

- ・簡易トイレ、衛生用品
(トイレットペーパー等)
- ・敷物(ビニールシート等)
- ・携帯ラジオ、懐中電灯、
乾電池
- ・救急医療薬品類



- 留意点**
- ・震災等の影響の長期化に備え、3日以上以上の備蓄についても検討しておく。
 - ・共助の観点から、外部の帰宅困難者等(来社中の顧客・取引先など)のために、例えば、10%程度の量を余分に備蓄することも検討しておく。

主要駅における帰宅困難者数

大阪駅・梅田駅周辺 約18万人

難波駅周辺 約9万人

天王寺駅・阿部野橋駅周辺 約5万人

京橋駅・OBP周辺 約4万人



(出典：第5回南海トラフ巨大地震災害対策等検討部会資料)

事業所における 「一齐帰宅の抑制」 対策ガイドライン



ガイドラインを参考に、発災時における行動ルールや防災計画を策定しましょう。

大阪府のホームページからダウンロードできます。

大阪府 帰宅困難者対策 検索

4 安否確認・ 情報収集手段の確保

発災時における従業員との連絡手段・手順をあらかじめ決めておく必要があります。

従業員が安心して施設内に待機できるよう、家族等との安否確認手段を従業員へ周知しておくことも大切です。被害状況など、正確な情報の収集手段についても事前に確認しておきましょう。



安否確認



災害用伝言ダイヤル(171)

安否等の情報を音声情報として蓄積し、録音・再生できるボイスメールです(災害時に限定して利用が可能)。

171を
ダイヤル

録音の時

- 1 「1」をダイヤル
- 2 自分の番号をダイヤル
- 3 録音する

再生の時

- 1 「2」をダイヤル
- 2 相手の番号をダイヤル
- 3 再生する

※災害時以外にも体験利用日(毎月1日及び15日など)が設けられています。体験利用で操作の確認をおきましょう。

災害用伝言板(web171)

パソコンや携帯電話を使って被災地の方の安否情報などの伝言を登録することができる伝言板サイトです。登録された伝言情報は、電話番号をキーとして全国(海外も含む)から閲覧、追加伝言登録が可能となります。

web伝言板で検索 <https://www.web171.jp>

携帯電話会社でもそれぞれ災害用伝言板サービスを提供しています。専用のアプリなども提供されているので、あらかじめ確認しておきましょう。

情報収集(例)

おおさか防災ネット

気象・地震や災害発生時の被害・避難情報など幅広い防災情報を提供するポータルサイト。

防災情報メール

携帯メールアドレスを登録しておく、気象・地震・津波情報、災害時の避難勧告・避難指示などの防災情報が、メールで配信。

「touroku@osaka-bousai.net」へ送信でも可

QRコードを
読み込んで
メールを送信



ツイッター

大阪府の公式ツイッターやおおさか防災ネットのツイッターからも各種の緊急情報等を発信。

もずやん@大阪府広報担当副知事 @osakaprefPR
おおさか防災ネットツイッター @osaka_bousai

Yahoo! 防災速報

ヤフーとの防災協定に基づき、自治体からの緊急情報として「避難勧告等の情報」や「避難所開設情報」等を発信。

<https://emg.yahoo.co.jp/>

上記の情報提供先以外にも、市区町村による防災情報メールやアプリなど、情報の入手先を事前に調べておきましょう。